

審査の結果の要旨

氏名 マレク ジリ

プロジェクトマネジメントにおいて円滑なコミュニケーションを図るための情報マネジメントは重要であり、質の悪い情報はプロジェクトのコストや時間を増大させると言われている。本研究は、文字情報によるコミュニケーションプロセスに着目し、情報の受け手の解釈の評価手法を開発することを目的とするものである。

これまでのプロジェクトにおけるコミュニケーションのための情報マネジメント研究においては、データベースにおけるデータの取り扱い方や文字情報のやり取りについての研究は実施されてきたが、文字情報の受け取られ方やその心理学的アプローチを情報マネジメントの視点で取り扱われることは少なかった。そこで、本研究では、プロジェクトでやり取りされる文字情報の理解度を評価する手法を開発し、これを用いて情報マネジメントの質の向上に資することを目標としている。

最初に学生を対象に実施した事前アンケート調査においては、文字情報の受け手に対して、複数の質問の前後で自己評価を実施させることにより文字情報の理解度を抽出することを試みた。対象としたテキストの構造やキーワードの抽出、要約等を実施させることを通して、情報の受け手の解釈を評価し、分類することが可能となり、同じ文字情報に対しても相当程度、理解度が異なることが示された。

次に実施した事前調査においては、対象とするテキストを変えて同様のアンケート調査を実施した。ここで採用したテキストは、理解度が改善されると期待して選択したものであったが、必ずしも理解度は改善されないことが明らかとなり、また、文字情報の解釈に関する評価手法を改善する必要があることが示された。そこで、評価手法をさらに改善し、第3の事前調査において、その有効性の確認と他の評価手法との比較を行っている。

本研究で提案する評価手法は、次の通りである。アンケートに用いる質問表は2種類用意される。第一の質問表は、各個人の文字情報の解釈や理解能力に関する自己評価を実施するためのものである。第二の質問表は、文字情報の解釈や理解度を評価するための詳細な質問から構成され、最後に、再度自己評価を行うものである。第二の質問表で得られた結果からテキストの解釈や理解度のレベルが評価され、さらに、第一の質問表の回答と第二の質問表の回答を詳細に比較評価することにより文字情報の解釈や理解度に関する自己認知度のレベルが評価される。この手法を香港のある建設プロジェクトの構成員に適用することにより、本手法の有効性が確認された。

アンケート調査に先立ち、香港における3つの建設現場を訪問し、建設プロジェクトにおける文字情報によるコミュニケーション構造を明らかにすると共に、現場で発生するト

ラブルとその原因を明らかにした。施工会社のプロジェクトマネジャーと施工監理者 (The Engineer) との間でやり取りされる情報は多様であり、その中でトラブルの原因となり易い文字情報が契約書や仕様書に関するやり取りであることが示された。

そこで、現場で使用されている仕様書の中から対象とするテキストを抽出し、約20人の現場経験を有する施工会社のプロジェクト構成員を対象に、本手法を適用している。その結果、本手法の有効性が示されると共に、経験年数の長い技術者においてもテキストの解釈や理解において、間違った自己認識がされていることが少なからず見られることが明らかとなっている。本手法の適用により、それぞれの解釈や理解度の弱点を明らかにし、コミュニケーションの向上に繋がる助言を作成することが可能となっている。

ただし、本研究の限界として、文字情報の解釈をそれぞれ評価する際に用いた評価尺度に重み付けを行っていないこと、文字情報の解釈を評価する際に用いた基準の数やタイプをコミュニケーションの特性に応じて特定するところまではできていないことが示されている。

本研究で提案する手法は、文字情報の受け手の解釈や理解度を評価し、その自己認識を確認するために有効であり、プロジェクトマネジメントにおける情報マネジメントの質の向上に資するものと期待できる。さらに、本研究の成果は、プロジェクトマネジメントにおける文字情報作成のガイドラインの作成や、文書解釈や理解度向上に関するトレーニング手法の開発にも貢献するものと期待される。

よって、本論文は、博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。